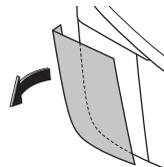


こんなときは

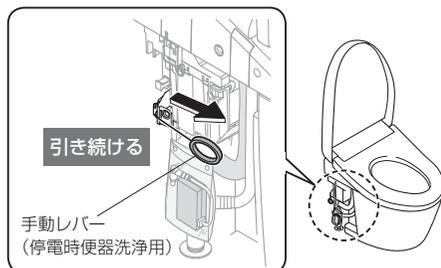
停電で水が流せないとき(断水していないとき)

■手動レバー(停電時便器洗浄用)で便器の水を流すことができます。
 ※停電していないときは、手動レバーを引っ張っても便器洗浄しません。
 動作確認をするときは、電源プラグを抜いてください。

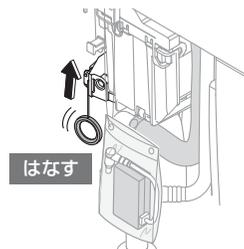
1 すっきりパネル(左)を取りはずす



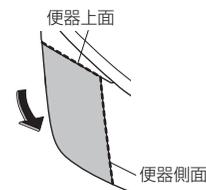
2 手動レバーを止まる位置まで引き続ける(約30秒)
 ・便器の水たまり面が上昇します。



3 「ピピッ」と電子音が鳴り、給水が止まったら、手動レバーをはなす
 ・便器の水が流れます。
 ※便器洗浄後、または途中で手動レバーをはなすと、約60秒間は便器洗浄しません。約60秒以上たつてから、もう一度便器洗浄してください。



4 すっきりパネルを取り付ける
 ・すっきりパネルは、便器上面と便器側面にあわせて、すき間がないように取り付ける。



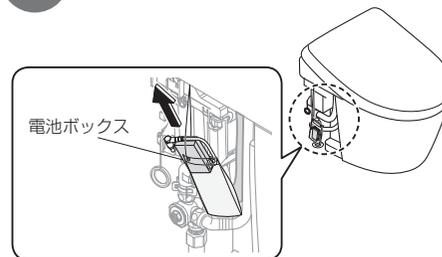
お願い
 ・停電が復帰したら、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)
 ※バケツで便器の水を流すこともできます。(P.42)

長期間(2日以上)停電が続くときは電池ボックスに乾電池を入れてください。

お願い
 ・電池ボックスは水にぬらさないでください。(故障の原因)

1 すっきりパネル(左)を取りはずす(P.40)

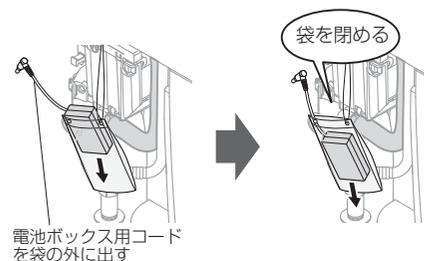
2 電池ボックスを袋から取り出す



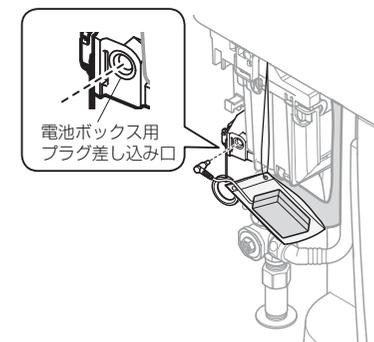
3 電池ボックスに単3乾電池(2本)を正しく入れる



4 電池ボックスを袋に入れる



5 電池ボックス用コードを電池ボックス用プラグ差し込み口に取り付ける



■手動レバーでの便器洗浄のしかた(P.40手順②③)

※停電が復帰したら、電池ボックス用プラグを抜き、乾電池を取り出し、コードを袋に入れて、すっきりパネルを取り付けてください。(P.40)

■電池について
 ・電池は、アルカリ乾電池をご使用ください。
 ・電池の破裂や液漏れなどを防ぐために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。(P.5、7)

こんなときは

断水で水が流せないとき

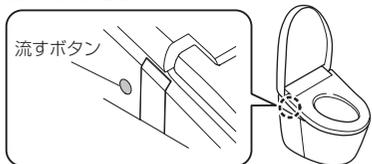
- 1 バケツで水を流す
- 2 流した後、水位が低くなったら水をつぎ足す
・においを防ぐため



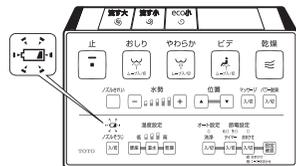
- お願い**
- ・断水のときは、「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.34)
 - ・断水が復帰したら、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)

リモコンで操作できないとき

■ウォシュレット左側面のボタンでも、便器洗浄できます。



■リモコンの電池切れ予告マーク「」が点滅しているときは、乾電池を交換してください。



乾電池の交換時期です。

■乾電池の交換のしかた

- 1 電源プラグを抜く
・「運転」ランプが消灯する
- 2 リモコンをハンガーから取りはずす (P.12)
- 3 カバーを開け、単3乾電池(2本)を交換する (P.12)
・電池切れ予告マークが消灯する
- 4 リモコンをハンガーに取り付ける
- 5 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

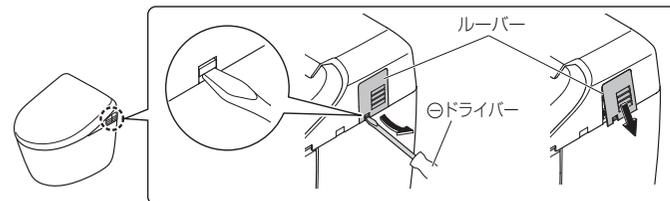


- お願い**
- ・乾電池を交換すると、節電機能など「入」「切」の設定が解除される場合があります。もう一度設定してください。

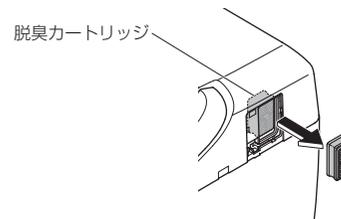
脱臭が弱くなったとき

脱臭フィルターを掃除してください。(P.29)
それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。(購入はP.56)

- 1 電源プラグを抜く
- 2 ウォシュレット本体(右側)のルーバーを取りはずす

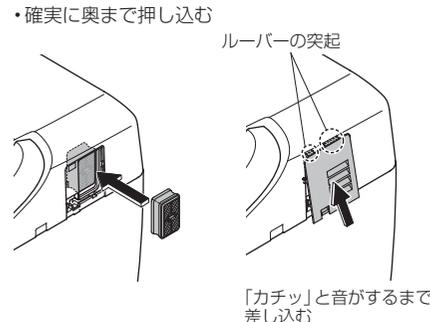


- 3 脱臭カートリッジを取りはずす



- ご注意**
- ・脱臭カートリッジの黒粉が手に付いたときは、すぐに手を洗ってください。(炎症を起こすおそれ)

- 4 新しい脱臭カートリッジとルーバーを取り付ける



- 5 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する